

The 2 Chome Times 2021年12月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO283.

2021・12月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス12月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★川飛理事が永年の功績に対し、表彰されました！

街として永年お世話になってきて、現在も相談役の川飛晴嗣氏が11月24日に生田防犯協会から生田警



察署署長室で防犯栄誉金章を受賞されました。昭和14年にセンター街2丁目に「とんかつ武蔵」が出店され、その関係から先代の川飛氏は終戦直後の昭和25年辺りから街の防犯に関与してこられました。そして



昭和43年から先代の後を継いだ川飛氏は現在まで月に一度の街の防犯活動を50年以上（凄い！）に亘って続けて来られました。その尽力に対して表彰を受けられましたが、川飛氏は「まだまだこの様な名誉ある章を受ける立場ではないが、皆様のご協力で今回の栄誉ある章を授けて頂いた。足腰は少し弱ってきたが、今後も街の為に尽力したい」と語っておられました。

★新春のタペストリーが決まりました

12月26日から新年用の2丁目のタペストリーに変わります。通常は「謹賀新年」等の場合が多かったのですが、コロナ禍ということもあり、日本画家の巨匠である大野俊明先生の「松韻一二条城一」の作品を取り入れたタペストリーにデザインされました。この二条城の絵は実は2丁目の事務所に大野先生からお借りし、数年間にわたって飾っていたものでした。二の丸御殿の障壁画が400年の歳を重ね剥落等の損傷が甚だしく、貴重な遺産を守るための模写嵌め変え作業をしておられる先生ですが、この作品はその作業場から見える風景だそうです。徳川時代の面影を色濃く残す佇まいにひかれて描かれたそうです。是非、皆様もタペストリーの前で少し立ち止まって鑑賞してみてください。



よいおとしで
ありますように

令和四年元旦

STREET MUSEUM

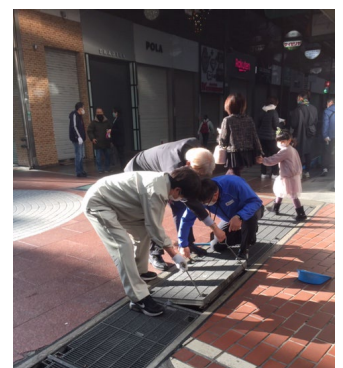
三宮センター街2丁目

★本年も1年間美化活動ご苦労様でした！

21日に今年最後の美化活動が行われました。コロナ禍の中でもがいて来た1年でしたが、そんな中でも



皆様の美化活動への御理解と御協力に対し、本当に感謝の念が絶えません。清潔で美しい通りでなければ、どれほど表面的な事柄だけを飾っても、全てがいがわしく、街の品位は保てません。来年もまた4月には新たな作品がアートストリートに加わりますし、話題性



も広がっていきます。来年も皆様の美化活動への御理解とご協力をよろしくお願いいたします。

★秋の信州を楽しみ、松本市とも交流してきました センター街2丁目研修旅行

2021年センター街2丁目秋の研修旅行は、緊急事態宣言も明けてコロナ禍も収まりつつあった11月



17日から19日まで長野県松本市で文化とワインを楽しむ3日間の研修旅行でした。1日目はフジドリームエアラインズで神戸空港から松本空港まで60分、あっという間に長野県に着きました。まずは、碌山美術館で近代彫刻の先駆者萩原守衛こと碌山の作品を見学。碌山の【女】という作品は美しい彫刻でした。昼食後は松本城に上り、城主気分を味わった後、白壁造りの雰囲気の良い街並みを楽しみました。その間、久利理事長と副理事長の方々、神戸市関係の方々は松本市役所へ表敬訪問し、久元神戸市長からお預かりした親書を臥雲市長にお渡しするなど、親睦を深めました。2日目は、まずバスで善光寺へ訪問。御開帳が1年延期となったので、



来年また訪れたいと思いつつ写真撮影の後、1400年続くパワースポットを後にしました。昼食後は、いよいよ岩松院へ【八方睨みの鳳凰】は173年前前に北斎が直接色を入れたままの姿で登場しました。その迫力に圧倒され素晴らしい仕事に感動しました。小布施の北斎館でも肉筆画を見て渦の中に吸い込まれるような感覚になりました。夕食は有名な「鯛萬」で、この日解禁されたボジョレーヌーボーを楽しみ、とても正統派で美味しいフランス料理でした。テーブルマナーの大切さ、調度品の美しさ、給仕の素晴らしいタイミング、文化力の高い夕食でした。最終日は、用の美を追求し職人の手仕事を

集めた松本民芸館で「生活の中の美」を再認識しました。信州の奥深さを感じ、ステイホームの時間をいかに丁寧に楽しむかのヒントを得たような時間でした。昼食後はフランスのアルヌーボーのガラスが有名な北澤美術館を訪れ、その後御柱祭りで有名な諏訪大社に参り、最後は山間にひっそりと営んでいる本洗馬(モトセバ)の民俗学の泰斗【菅江真澄】の資料館へ行き学芸員の方から詳しい説明をお聞きました。3日間お天気も良く文化と美食を堪能した松本旅行でした。コロナ対策や移動中にいろいろお気遣い頂きましたツーリストイン神戸吉田さんに感謝申し上げます。また緊急事態宣言も終了し久しぶりに心おきなく参加出来た有意義な旅を計画してくださった皆様ありがとうございました。

★年末、特別警戒を呼びかけるパレードが行われました

12月20日(月曜日)の午後に生田警察署が皆様に交通事故防止と詐欺などの防犯への呼びかけを行うパレードを行ないました。一日署長には女子プロゴルファーの安田祐香プロが抜擢され、皆さんに笑顔を向けながらその出身高校である滝川第二高校の吹奏楽部の生徒さんによる華やかな演奏と共に街を練り歩かれ、皆さんの注目を浴びていました。年の瀬も迫ってきましたが、新しい年を無事に迎えられる様に交通事故防止と防犯にはくれぐれも気を付けて行きましょう！



★お詫びと訂正

タイムズ11月号の編集後記で「久元神戸市長」と表記すべき個所を「久本神戸市長」と誤って表記しました。お詫び申し上げますと共に訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。

★編集後記

「継続は力なり」とは何かの折によく耳にしますが、記事の中でもご紹介した川飛相談役が昭和43年から街の防犯に関わられてきたとの事、その貢献度の高さと気の遠くなるような時間の流れには本当に頭が下がります。それでも「まだまだ賞を受けるような立場にない」と謙遜されるお人柄ですが、川飛氏が「防犯荣誉金章」に十分値されるのは間違いありません。日々、「安全・安心な街」を目指していますが、川飛相談役のような皆様のご努力によってそれが成り立っている事を私達は忘れてはならないと思います。今年も1年間、ご愛読ありがとうございました。来年こそ皆様とこの街に平穏な日常生活が戻ることを願っています。